

①入域観光客数概況(24年4月～6月見通し)

1. 入域観光客数概況(24年4月～6月見通し)

(概況)

国内入域については、4月5月は、GW期間中を中心に需要が好調に推移している。特に東京・大阪・名古屋発宮古・石垣路線の需要が高い。

海外入域については、空路は特に台北、韓国仁川、香港路線については予約が堅調に推移しているほか、空路入域客数に関しては対19年度比7割強の水準まで回復する見込み。海路は台湾や中国(上海・厦門・香港)などから入港が予定されているが、入域客数は対19年度比3割程度の水準となる見通し。

なお、2023年度の年間入域観光客数は853万人となり対前年度比で125.9%と増となった(19年度比では90.1%)。

			4月(予測)	5月(予測)	6月(予測)	4-6月計
2024年度	国内	空路	581,000	564,000	577,000	1,722,000
		海路	6,000	6,000	10,000	22,000
		合計	587,000	570,000	587,000	1,744,000
	海外	空路	115,000	117,000	120,000	352,000
		海路	27,000	28,000	35,000	90,000
		合計	142,000	145,000	155,000	442,000
	国内・海外合計		729,000	715,000	742,000	2,186,000
前年度比	国内	空路	96.6%	100.0%	99.9%	98.8%
		海路	428.6%	54.1%	119.0%	105.3%
		合計	97.3%	99.1%	100.2%	98.9%
	海外	空路	191.0%	184.8%	176.2%	183.7%
		海路	415.4%	424.2%	364.6%	396.5%
		合計	212.9%	207.4%	199.5%	206.3%
	国内・海外合計		108.8%	110.8%	111.8%	110.5%
19年度比	国内	空路	97.5%	101.4%	102.0%	100.2%
		海路	120.0%	58.8%	238.1%	113.4%
		合計	97.7%	100.6%	103.0%	100.4%
	海外	空路	77.5%	72.1%	70.7%	73.3%
		海路	26.5%	26.4%	27.2%	26.7%
		合計	56.7%	54.0%	51.9%	54.1%
	国内・海外合計		85.6%	85.6%	85.5%	85.6%

・4月 : 【国内】 (空路) 58.1万人 (23年4月対比 96.6%) と見込む。

特に東京・大阪・名古屋発宮古・石垣路線の離島直行便の需要が高い。

(海路) 横浜・高知などから2回入港予定。入域客数は0.6万人 (23年4月対比 428.6%) の見通し。

【海外】 (空路) バンコク那覇路線が4/2(火)から新規就航したことにより、入域客数は11.5万人 (23年4月対比 191.0%) となる見通し。

・バンコク＝那覇路線◆エアアジア：4月2日(火)から新規就航 1日1往復(火・木・土・日)

(海路) 台湾(基隆)・中国(厦門)・香港より12回入港予定。

入域客数は2.7万人 (23年4月対比415.4%) となる見通し。

①入域観光客数概況(24年4月～6月見通し)

1. 入域観光客数概況(24年4月～6月見通し)

- ・5月 :【国内】(空路)56.4万人(23年5月対比 100.0%)と見込む。ゴールデンウィークにより旅行需要は好調に推移する見込み。
とくに、日並びの影響により後半が好調に推移している。
(海路)0.6万人(23年5月対比 54.1%)となる見通し。横浜・小樽から計2回入港予定。

【海外】(空路)11.7万人(23年5月対比 184.8%)となる見通し。

- ・仁川＝那覇路線◆アジアナ航空:5月8日(水)から5月25日(土) 期間限定増便 1日1往復(月・水・土曜のみ)
- ・仁川＝下地島路線◆ジンエアー:5月29日(水)から新規就航 1日1往復(月、水、金、土、日のみ)

(海路) 香港や上海などから計8回入港予定。入域客数は2.8万人(24年5月対比 424.2%)となる見通し。

- ・6月 :【国内】(空路)57.7万人(24年6月対比 99.9%)と見込む。
(海路)1万人(24年6月対比119.0%)となる見通し。計9回入港(うちフライ&クルーズ7回)予定。

【海外】(空路)12万人(24年6月対比 176.2%)となる見通し。

- ・台北(桃園)＝石垣路線◆チャイナエアライン:9月4日(水)から復便 1日1往復(水・土のみ)

※新石垣空港 新国際線ターミナル完成後、初の定期便就航

- ・台北(桃園)＝那覇路線◆エアアジア:6月15日(土)から新規就航 1日1往復(デイリー)
- ・香港＝那覇路線◆香港航空:6月2日(日)から復便 1日1往復(火・木・土・日のみ)

(海路)3.5万人(24年6月対比364.6%)となる見通し。台湾(基隆)・中国(厦門・上海)などから計11回入港予定。

②県内ホテル客室・レンタカー単価概況(24年4月～6月見通し)

2. 県内ホテル客室単価概況(23年度実績および2024年4月～6月見通し)

ホテル区分	実績(1客室あたり単価)		見通し(1客室あたり単価)					
	2023年度	前年比	4月	前年比	5月	前年比	6月	前年比
本島リゾート	¥31,893	118.0%	¥28,213	111.9%	¥34,849	107.6%	¥30,251	105.9%
離島リゾート	¥28,424	111.4%	¥27,129	102.5%	¥32,423	98.0%	¥27,993	95.3%
シティホテル	¥14,707	120.7%	¥13,786	99.8%	¥17,306	121.6%	¥15,672	110.6%

(OCVB独自調査) ※上記ホテル客室単価実績および見通しについては、OCVBがヒアリングした約330のホテルの平均値

(概況)

2023年度の県内ホテル客室単価実績については、旅行マインドが堅調であったこと物価高等の要因により、前年度比で大きく伸びている。

4月から6月の見通しについても、旅行目的地として引き続き沖縄が人気であること、需要の伸びが顕著であることにより、各ホテル区分ごとの客室単価については前年度なみに推移する見込み。ゴールデンウィーク期間中の後半がとくに好調。

(県内ホテルや旅行会社、OTAへのヒアリングによるOCVB独自調査)

3. 県内レンタカー単価概況(23年度実績および2024年4月～6月見通し)

実績			見通し								
2023年度	前年度比	19年度比	4月	前年度比	19年度比	5月	前年度比	19年度比	6月	前年度比	19年度比
¥24,485	104.8%	221.7%	¥19,293	79.9%	160.9%	¥22,737	83.3%	147.5%	¥19,258	86.8%	211.7%

※上記、レンタカー単価実績および見通しについては、OTAからのヒアリング(平均値)単価については1日あたりではなく予約1件あたりの単価。

(概況)

2023年度の県内レンタカー単価実績については、前年度比で104.8%となった。23年度の車両台数が過去最高を記録し、供給が増えたことにより、価格は安定してきている。4月から6月にかけての見通しについては、前年を下回る水準となる見通し。

(OTAおよび沖縄県レンタカー協会へのヒアリングによるOCVB独自調査)

令和6年4月26日（金）

台湾地震による津波対応に関する緊急アンケートを実施しました ～「観光危機管理」における平時からの取り組みの重要性～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）では、4月3日に発生した台湾地震による、津波警報対応に関する緊急アンケート（沖縄観光産業団体協議会、県内市町村観光協会対象、回答数144件）を実施しました。沖縄県の振興発展に寄与している観光産業における初動対応状況を把握していくことは、OCVB・県及び関係機関等が連携して今後の観光危機管理対応を検討するうえで極めて重要であると考えております。概要は下記のとおりです。

対 象：沖縄観光産業団体協議会、沖縄県観光協会等協議会 各会の傘下事業者
実施方法：Microsoft Formsによるアンケートフォーム
実施期間：4月12日（金）～4月18日（木）
回 答 数：144件
※詳細は別添ご確認ください。

- 地震津波など災害時用の対応マニュアルがありますか。 ある：71 ない：73
- 避難誘導を実施しましたか。 した：99 していない：45
- 津波の避難誘導訓練をこれまでに実施したことがありますか。 ある：43 ない：101
- 今回の対応を通して感じた課題：（抜粋）
 - ・マニュアルの見直し・策定、避難訓練の必要性 : 25
 - ・避難の方法について（車による渋滞） : 18
 - ・インバウンドへの案内（多言語による情報発信）について : 8
- 行政に要望する事項：（抜粋）
 - ・車での避難による交通渋滞への対応、避難方法の改善について : 23
 - ・情報提供方法の改善（多言語対応含む） : 20
 - ・マニュアルの策定及び必要性について : 7

上記から、津波を想定した避難訓練の実施や、マニュアルの策定・見直しなど、平時からの取り組みの重要性が浮き彫りになりました。

OCVBでは、沖縄県から観光危機管理体制構築支援事業を受託しており、このような課題を解決するため、観光危機管理計画策定に関する勉強会や、図上訓練の実施を予定しております。このような機会を通じ、観光客や観光産業の安全・安心を構築してまいります。

あわせて、このたび OCVB では、「観光危機管理」について学べる資料を作成、公開したことをお知らせいたします。

観光危機管理とは、観光客や観光産業に被害をもたらす「観光危機」に対し、あらゆる対策を計画的に行うことです。

沖縄県では、第2次沖縄県観光危機管理計画/対応マニュアルを策定し、市町村や観光業界等と連携して、年1回の図上訓練や勉強会など、観光危機時の対応について取り組みを進めております。しかしながら一方で、人事異動や職員・社員の入退職による知識・経験、ノウハウの蓄積や継続が課題となっています。

そこで、新たに観光危機管理の担当となった市町村の担当者や、観光危機管理について知りたい方に向け、概要を知っていただくための資料を作成、公開いたしました。まずはこちらで基本的な内容を知ってもらい、自分たちの組織で必要なことは何か、検討いただくきっかけとしていただきたいと思います。

OCVB は引き続き沖縄県、市町村、業界等と連携して、観光危機発生時の体制整備、強化を進めてまいります。

公開資料：「観光危機管理とは」

(観光危機管理ってなに？/沖縄県が取り組む観光危機管理/何をしたらよいか)

<https://tcm.ocvb.or.jp/manual/>

※参考

- 観光危機管理計画策定済み市町村：18 (R6年4月22日時点)
(昨年度開催の勉強会へは12市町村11観光関連事業者が参加)
- 今年の事業スケジュール(予定)：
 - ・市町村/観光協会への事業説明会(北部/中部/南部)…5~6月頃
 - ・観光危機管理計画/BCP策定に関する勉強会…8~10月頃
 - ・図上訓練(初動対応/帰宅支援)…11月頃

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

企画・施設事業部 企画課

担当：中山、天久

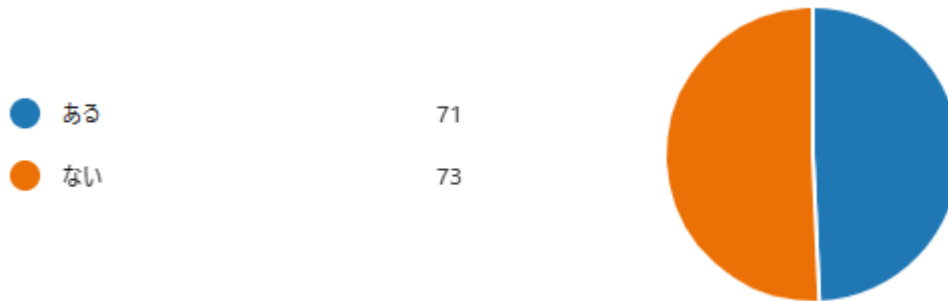
TEL:098-859-6126 FAX:098-859-6221

Mail:kikikanri@ocvb.or.jp

台湾地震に係る津波対応に関する緊急アンケート(まとめ)

- 目的：沖縄県の振興発展に寄与している観光産業における初動対応状況を把握し、OCVB・県及び関係機関等が連携して今後の観光危機管理対応を検討する。
- 対象：沖縄ツーリズム産業団体協議会、沖縄県観光協会等協議会 各会の傘下事業者
- 実施方法：Microsoft Forms によるアンケートフォーム
- 実施期間：4月12日(金)～4月18日(木)
- 回答数：144件
- 結果：詳細は以下のとおり

1、地震津波など災害時用の対応マニュアルがありますか？



2、避難誘導を実施しましたか？



3、具体的にどのようなことを実施しましたか？ (一部抜粋)

- ・クルーズ船のお客様・クルーの方 130 名程度を大型バス 3 台にて移動。
- ・館内放送にて高層階へ誘導。地域住民受入れ(ラウンジ開放) ミネラルウォーターなど提供。出勤前及び出勤中のスタッフへ指示があるまで最寄りの避難場所へ避難。ホテル内に津波情報を開示や館内放送で随時状況をお知らせ。館内各所へ海拔表記し安全区域をお知らせ。
- ・300 名以上避難してきたので宴会場、ロビーを開放。駐車場、徒歩での避難者に対しての誘導。ペット連れの方も 10 組以上いらっしゃり、エントランスの屋根の下に案内。館内館外の方にお水を用意し配った。宴会場ではテレビを用意し情報配信した。保育園の園児も多く避難していたのでアニメをテレビで流した。
- ・ビーチ及び駐車場など低層階ゲストの避難誘導、チェックアウト前ゲストの客室待機、宴会場での待機。

4、実施しなかった理由をご記入ください。（一部抜粋）

- ・ホテル自体が高台にあり、むしろ避難の受け入れ先となったため
- ・避難場所がよく分からなかった
- ・ハザードマップを参考にし、避難の必要性を感じなかったため
- ・高台に建っており、避難誘導が不要だった

5、避難誘導、避難した場所はどちらになりますか？

● 建物内垂直避難	46
● 指定避難所	39
● その他	59



「その他」（一部抜粋）

- ・自宅待機。
- ・建物が3階建の為、3階へ避難誘導、建物外に避難を強く希望したゲストには、山沿いの農道を上がった場所へ誘導。

6、避難誘導、避難した場所について具体的にご記入ください。（一部抜粋）

- ・ビーチスタッフは、高台の屋内運動場に避難。
- ・問合せがあった場合、市発行のハザードマップ上の海拔10m以上の地域へ案内。
- ・屋上、最上階（6F）へ全館緊急放送実施し誘導。低層フロアについては全客室を回り全ゲストの避難状況確認を行いました。
- ・旅客ターミナル1階到着ロビーや2階出発ロビー等から3階以上へ避難誘導した。（バス、モノレールが津波警報中も運行していたことによる入場客も含めて）

7、津波の避難誘導訓練をこれまでに実施したことがありますか？

● ある	43
● ない	101



8、今回被害又は損失はありましたか？

● ある	10
● ない	134



9、被害又は損失の内容及び想定額をご記入ください。（一部抜粋）

想定額：24,500円～約2,000,000円

- ・飛行機が欠航となり宿泊キャンセル100万
- ・200万円相当の宿泊キャンセル
- ・当日キャンセル 先日程風評被害によるキャンセル
- ・航空機の欠航による予約の取消が10件程度ありました。

10、今回の対応を通して感じた課題があれば具体的にご記入ください。（一部抜粋）

- ・マニュアルの見直し・策定、避難訓練の必要性：25件
- ・避難の方法について（車による渋滞）：18件
- ・インバウンドへの案内（多言語による情報発信）について：8件

11、行政に要望する事項がありましたら具体的にご記入ください。（一部抜粋）

- ・車での避難による交通渋滞への対応、避難方法の改善について：23件
- ・情報提供方法の改善（多言語対応含む）：20件
- ・マニュアルの策定及び必要性について：7件
- ・備蓄品の必要性や購入補助の希望について：6件
- ・行政機関含む関係機関との連携：4件
- ・地震や火災のみならず、津波避難訓練の必要性について：3件

以上

観光危機管理とは

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー



1. 観光危機管理ってなに？
2. 沖縄県が取り組む
観光危機管理
3. 普段からできる備えって
どんなこと？








1. 観光危機管理ってなに？

観光危機管理とは

観光客や観光産業に甚大な被害をもたらす事件・事故などの「観光危機」を予め想定し、被害を最小化するための減災対策、観光危機発生時における観光客への情報発信、避難誘導・安全確保、帰宅困難者対策等の迅速な対応、観光危機後の風評被害対策、観光産業の早期復興・事業継続支援等を組織的かつ計画的に行うこと。



観光危機	事 例	
①自然災害 ・危機	地震、津波、台風、大雨による洪水・土砂災害、高潮、風害(竜巻を含む)等	
②人的災害 ・危機	ホテル等の大規模火災、大規模交通・鉄軌道・航空機・船舶事故、大規模停電、広範囲な通信障害、原子力災害(原子力艦等)、不発弾爆発、武力攻撃、テロ、ハイジャック、凶悪犯罪 等	
③健康危機	大規模食中毒、感染症、新型インフルエンザ、有毒生物等の異常発生、新型コロナウイルス等	
④環境危機	大気汚染、海洋汚染 等	
⑤県外で発生した災害・危機	県外で発生した①から④の災害・危機のうち、沖縄観光に影響を与える観光危機、主要市場における急激な経済変動、主要市場発着航空便の長期にわたる運航休止・減便、他国との外交摩擦、紛争 等	

●地域防災計画にも観光客に関する記述はある

沖縄県地域防災計画 P34 第2章 基本方針
第3節 本県の特殊性等を考慮した重要事項

4 観光客や外国人の避難誘導

地震が発生した場合、県内の市街地、海岸、観光施設等にいる多数の観光客の避難誘導が必要となるほか、航空機が停止した場合には、県内（島内）に滞留することも予想される。

観光客等の安全を確保するため、県、市町村、観光協会、観光施設及び宿泊施設等の関係者が連携して、観光客や外国人への避難情報の提供、避難誘導、帰宅支援体制を整備する。

また、少なくとも海拔5m以上のより高い場所へ、津波到達時間内に避難できるように県内全域で以下のような対策を進めるほか、歴史上最大クラスの津波についても可能な限り対策を講じていく。

ア 観光施設、宿泊施設等における観光客、外国人等の避難誘導體制の整備

イ 海拔高度図を活用した、観光施設等への標高や津波避難場所・ルート等の標識設置

ウ 滞留旅客の待機施設等の確保

⇒しかし、それだけでは足りないので、
観光危機管理計画で具体化している

観光危機が発生したら… **観光客ってどんな特性？**

- 土地勘がない。避難方法・避難場所がわからない
- 沖縄に家がない。

元々短期間滞在する予定のホテルしかない

- 早く家に帰りたい
- 県としても早く帰したい

(備蓄に限りがあること、県内の復興に注力できる、等)

観光危機管理の基本方針(4R)



平常時の減災対策 = Reduction

危機発生前の準備 = Readiness

危機発生時の対応 = Response

危機からの回復 = Recovery

人命を守り、観光産業への被害ができるだけ
少なくなるよう対策する

観光危機管理ってなに？

観光危機管理は「防災の中における「観光」に関する取り組み」

平時の対策・準備は
「防災的要素」が強い
→発災直後は県民・観光客問わず、
「いのちを守る」ことが最優先

県民は、「住居の確保・再建」、
観光客は、「自宅に帰りたい」

防災

観光



時間の流れとともに、住民と観光客でニーズが変わる
⇒観光客には、より観光的な支援が求められる
(飛行機の手配、帰れるまでの滞在場所の手配等)

2. 沖縄県が取り組む 観光危機管理

2001年：米国同時多発テロ 2003年：SARS流行

2009年：新型インフルエンザ流行、リーマンショック

2011年：東日本大震災

東日本大震災を契機に、
沖縄県における観光危機管理の
取り組みがスタート

2018年：麻しん(はしか)の流行

2019年：日韓問題悪化による旅行者減、首里城正殿焼失

2020年～：新型コロナウイルス感染症流行

沖縄観光に大きなマイナスの影響

災害・危機に対して「**安全・安心・快適な観光地**」
であることが、沖縄観光の持続的発展に不可欠

観光危機管理計画策定の流れ

平成27年3月に「沖縄県観光危機管理基本計画」を、
平成28年3月に「沖縄県観光危機管理実行計画」を策定

備えから復興まで、より具体的な取り組みを加えるとともに、
各危機対応における関係各所の役割をさらに明確にし、
観光危機発生時に機動的で実効性のある対策を実施できる体制構築
& コロナの影響も加味



令和4年3月に改定「第2次沖縄県観光危機管理計画」
「沖縄県観光危機管理対応マニュアル」の策定

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kankokikikanri/kankokikikanri.html>

観光危機管理体制構築支援事業

OCVB受託事業

【目的】

観光危機が起こった場合に、観光客の安全・安心を確保するとともに、観光産業への影響を最小限に留めることを目的として、国、市町村、地域観光協会、観光業界等と連携し、観光危機管理に関する取組を県内各地に普及、拡大させる。令和4年度は、「沖縄県観光危機管理基本計画」の改定を踏まえ、市町村、地域観光協会、観光業界等と連携し、より実効性のある観光危機管理体制の構築を推進する。

【内容】

- ・観光危機管理体制の構築(訓練、勉強会等)
- ・観光危機に関する情報発信
- ・関係機関との連携体制構築 等



3. 普段からできる備えって どんなこと？

過去の訓練アンケートから：

今回の訓練を通じて得られた気づきは何ですか。※一部抜粋

- ・観光関連事業者が、日頃より顔の見える関係を築くことが大切。
- ・夜間、大地震の際の対応、非常参集の難しさを痛感した。
- ・電話が利用出来ないなど、情報の入手は実際にはかなり大変な作業になる。
- ・社内で訓練を実施しているが、災害が起きた『その時』だけの訓練であり、『その後』を見据えた訓練を行わなければいけない。
- ・災害発生時の対応マニュアルがあいまいな部分があり、細かい所までしっかりと見直す必要がある。

- ・必要な連絡先との関係性の構築

平時からの 関係性構築

減災対策

他組織との 連携

- ・周辺のハザードマップや、最寄りの避難所の確認
- ・自社内での緊急連絡網・体制の確認
- ・自社での危機対応マニュアルなどがあれば、平時に内容を確認する
- ・連携協定の締結
- ・合同での訓練実施

- ・観光危機管理は、「観光客や観光産業」が対象
- ・平時からの備えが大事

すべての取り組みが
観光産業の復興と
沖縄観光の持続的発展につながる

参考：

観光危機管理について

<https://tcm.ocvb.or.jp/>

沖縄県・危機管理計画について

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/bunka->

[sports/kankoseisaku/kankokikikanri/kankokikikanri.html](https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kankokikikanri/kankokikikanri.html)

令和6年4月26日（金）

韓国 済州特別自治道観光協会との交流事業について

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎 以下 OCVB）は2006年にMOUを締結している韓国の済州特別自治道観光協会（以下 JTA）との交流事業として、済州島で開催される済州国際マラソンへ参加いたします。2018年にOCVBから済州国際マラソンへの参加をきっかけに協定内容を見直し、再調印いたしました。それ以来、済州島と那覇間におけるチャーター便の実施やJTAによるNAHAマラソンへのランナー派遣など相互交流が促進されています。また、今回の交流事業では、両地域における今後の積極的な交流促進を目的に互いの観光課題や具体的な連携策を話し合う意見交換も実施予定です。韓国からの観光客数は2023年（暦年）の約26万人に対し、2019年は38万人で回復率は約68%、航空便は2019年7月の8社週73便に対し、現時点において6社週42便で約57%の便数回復率となっています。

備考：済州島は、朝鮮半島の南西、日本海、東シナ海、黄海の間にある火山島。周りを海に囲まれ、手付かずのビーチやサーフィンスポットもあることから、「韓国のハワイ」と呼ばれている。ユネスコの世界自然遺産が多く、本土とは異なる自然と文化を楽しめる国際的なリゾート地である。

《交流事業 概要》

日 程：2024年5月18日（土）～5月21日（火）

場 所：韓国 済州特別自治道

出 席：OCVB 専務理事 真鳥 洋企

MOU（原文）：

1. 年1回、両地域の観光市場の動向と課題を共有し、相互観光客誘致および受け入れ態勢活用のための会議開催（開催場所は双方交換）
2. 両地域観光客誘致および受入体制活用のための職員間交流会（相互訪問視察）の実施
3. 両地域代表的なマラソン大会（祭り）に相互選手および交流団派遣・交流の実施
4. 両地域観光客誘致の活性化に向けた、共同協力セールス・マーケティングの実施

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE 事業部 海外プロモーション課 担当：黒島・オ

TEL:098-859-6127 FAX:098-859-6221

Mail: jyuten@ocvb.or.jp

■これまでの交流の様子（2020 年度、2021 年度はコロナのため実施無し）

《2023 年度》



濟州からの NAHA マラソン参加者



那覇空港における JTA 訪問団歓迎式



濟州国際マラソンにおける沖縄観光案内



JTA との意見交換

《2022 年度》



JTA 訪問団および OCVB

令和6年4月26日（金）

観光就活応援フェア「セミナー&交流会」を開催します ～就活のスタートダッシュを応援します！～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎）は、沖縄県より「観光人材育成・確保促進事業」を受託しており、本格的な観光需要の回復に向けた観光産業における人材確保を目的に、学生・企業・学校関係者が交流できるイベントを開催いたします。

「観光就活応援フェア」と題した今回のイベントは、これから就活を始めようとしている大学生・専門学校生のスタートダッシュを後押しするべく、第1部にて「就職活動時の自己分析や情報収集の方法」といった初歩的な内容の講演を行った後、第2部では、昨年度2月に実施した「観光ジョブフェア」の参加者アンケートの声を受け、ブース形式ではなく、企業の人事担当者・若手社員と自由に話ができる交流会を開催します。

自分の価値観やその分析方法について理解した上で、各社における実際の働き方や、キャリアパス、選考フローに関する具体的な情報を得ることで、就職活動の促進と入社後のミスマッチ防止につなげて参ります。

つきましては、当日の取材ならびにイベントの周知についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

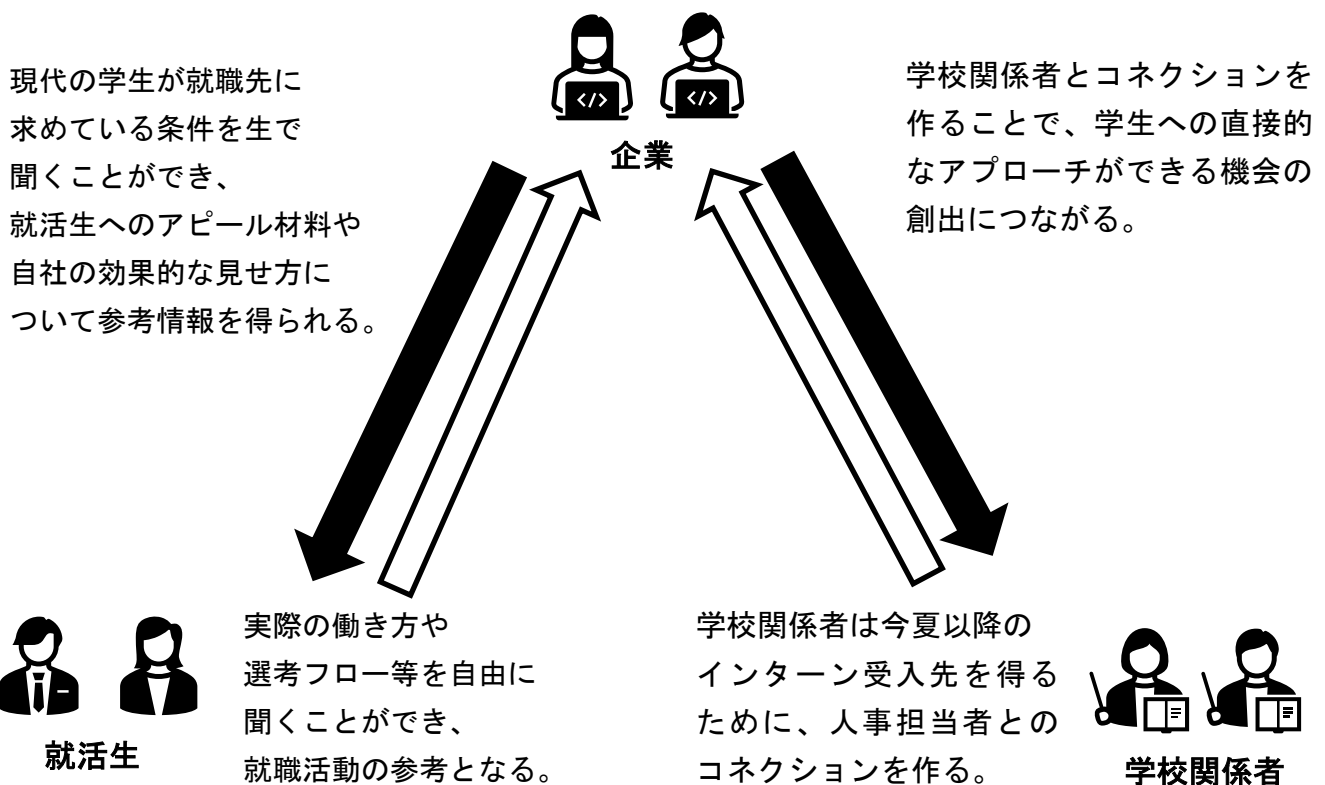
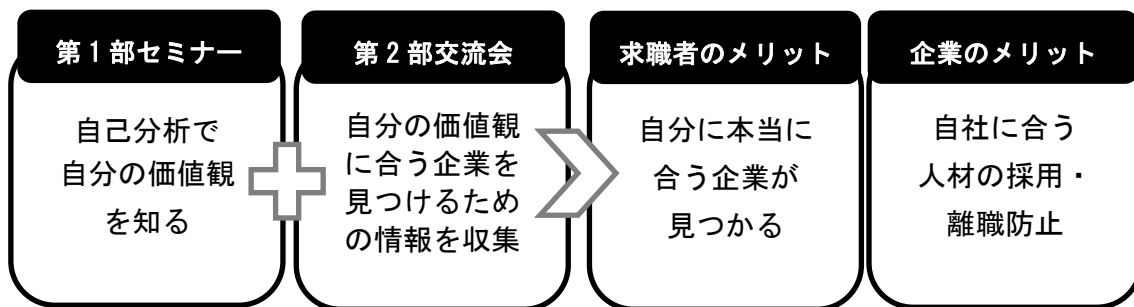
■開催概要

- 【日 時】令和6年5月30日(木)12:30～17:00
- 【場 所】ダブルツリーby ヒルトン那覇首里城（首里の間）
- 【対 象】2025年以降卒予定の学生、求職者、学校関係者など
- 【参加費】無料

■スケジュール

- 【第1部】12:30～14:45 講演及びワークショップ
テーマ：「就職活動における自己分析（仮）」
講 師：株式会社ウェイアンドアイ 代表取締役 粟野 智子 氏
- 【第2部】企業・学生・学校関係者交流会
参加企業：沖縄県内に事業所を有する観光関連事業者
（旅行会社、ホテル、旅館、観光施設、交通機関など）
※人事担当者と入社5年以内の社員 最低各1名ずつの計2名以上が参加
以上

■資料（観光就活応援フェアの狙いとポイント）



【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー
 国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター
 担当：瑞慶山・金城・具志堅
 TEL: 098-859-6129 FAX: 098-859-6221

令和6年4月26日（金）

令和6年度OCVB職員採用試験について

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下OCVB）は、令和6年度職員採用試験を下記の通り実施いたします。

沖縄観光のプロフェッショナルとして県経済発展の推進役を担い、観光を通じた県民の幸せ作りを共に目指していただける方を下記の通り募集しております。

記

1. 採用内容

- (1) 採用職種：総合職
- (2) 採用予定数：若干名
- (3) 受験資格：令和6年1月1日時点で35歳未満の者
- (4) 採用時期：令和6年7月1日

2. 採用試験スケジュール

- 募集開始：4月22日（月）
- 応募締切：5月10日（金）
- 一次試験：5月18日（土）予定 筆記及び論文試験 等
合格発表 5月23日（木）※OCVB HPにて掲載
- 最終試験：5月26日（日）予定 口述試験（面接）
合格発表 5月28日（火）※OCVB HPにて掲載

3. 参考

OCVB HP：<https://www.ocvb.or.jp/topics/4276>

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

総務部 総務・経理課

担当：伊禮・玉城・志伊良・前仲

電話：098-859-6124

E-mail：hr@ocvb.or.jp

令和 6 年 4 月 26 日 (金)

令和 6 年度 GW 期間中のクルーズ船入港予定について

GW 期間中 (4/27~5/6 (10 日間)) のクルーズ船入港予定については下記の通りとなります。那覇港においては 5/3 (金・祝日) に 2 隻同時入港となり、那覇ハーリーとも重なることより、周辺道路は渋滞が予想されます。報道機関におかれましても、情報発信へのご協力をよろしくお願いいたします。

那覇港									
入港日時			出港日時			船名	総トン数	乗客定員	備考
4月30日	火	7:00	4月30日	火	19:00	DIAMOND PRINCESS	115,906	2,674	泊 8 号
4月30日	火	11:00	4月30日	火	21:00	RESORTS WORLD ONE	75,338	1,856	第 2 CB
5月3日	金	7:00	5月3日	金	19:00	SPECTRUM OF THE SEAS	169,300	4,180	第 2 CB
5月3日	金	8:30	5月3日	金	19:30	MEDITERRANEA	85,619	1,280	泊 8 号
5月7日	火	13:00	5月7日	火	23:00	RESORTS WORLD ONE	75,338	1,856	泊 8 号

那覇港管理組合 公表

平良港									
入港日時			出港日時			船名	総トン数	乗客定員	備考
5月1日	水	11:00	5月1日	水	21:00	RESORTS WORLD ONE	75,338	1,856	

宮古島市建設港湾課 公表

石垣港									
入港日時			出港日時			船名	総トン数	乗客定員	備考
4月27日	土	7:00	4月27日	土	16:00	MEDITERRANEA	85,619	1,280	
4月30日	火	7:00	4月30日	火	15:30	MEDITERRANEA	85,619	1,280	
5月1日	水	10:00	5月1日	水	19:00	DIAMOND PRINCESS	115,906	2,674	
5月7日	火	7:00	5月7日	火	16:00	MEDITERRANEA	85,619	1,280	

石垣市建設部港湾課 公表

※2024 年 (1 月~12 月) においては、那覇港 217 回 (4/4 更新)、石垣港 193 回 (4/11 更新)、平良港 85 回 (4/16 更新) となっています。

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE 部 海外プロモーション課 担当: 仲里・新本

TEL: 098-859-6127 FAX: 098-859-6221

Mail: cruise@ocvb.or.jp

関係各位

那覇クルーズ促進連絡協議会

会長 高宮 修



那覇ハーリー期間中における那覇港周辺地域の交通渋滞緩和に向けた周知について

令和6年5月3日（金）から5日（日）の3日間の日程で、那覇港新港ふ頭において、那覇ハーリーが開催されます。那覇ハーリーには、毎年多くの来場者（3日間延べ約17万人を超える）が見込まれます。

さらに、那覇港泊8号及び第2クルーズバースにおいては、クルーズ船が2港同時入港予定となっており、那覇港からハーリー会場（若狭・泊・安謝・港町）周辺にかけて激しい交通渋滞が生じることが予想されます。

つきましては、周辺地域における同時時間帯の交通見合わせや、公共交通機関利用を御検討いただくなど、交通渋滞緩和に御協力くださるよう関係団体への周知方お願いいたします。

記

■交通渋滞が予想される時間帯

5月3日（金） 午前7時から午後8時頃 ※予想のため時間帯は前後する場合があります。

■周辺情報

・クルーズ船の入港

那覇港泊8号（入港予定時刻8:30 出港予定時刻19:30）

MEDITERRANEA（約8.5万トン）乗客定員2,680人、乗組員定員897人

第2クルーズバース（入港予定時刻7:00 出港予定時刻19:00）

SPECTRUM OF THE SEAS（16.9万トン）乗客定員4,246人、乗組員定員1,551人

○那覇港への寄港に関するお問い合わせ 那覇港管理組合 TEL:098-862-2328

・那覇ハーリー

5月3日（金） 午前9時半開場、午前10時出店開始

【参考】令和5年度観客動員数

5月3日：52,000人、5月4日：30,000人、5月5日：91,000人

○那覇ハーリーに関するお問い合わせ 那覇市観光協会 TEL:098-862-1442

※各お問い合わせ先の電話受付時間は平日9:00～17:00（12:00～13:00を除く）

那覇クルーズ促進連絡協議会事務局（那覇市観光課内） TEL:098-862-3276 FAX:098-862-1580

周辺地図



那覇港泊8号：沖縄県那覇市若狭1丁目2 8

那覇港第2クルーズバス：沖縄県那覇市港町4丁目4